



社協だより りんどう 82



～本誌の内容～

南小国町の福祉・ボランティア情報誌
編集・発行:南小国町社会福祉協議会
ボランティアセンター
TEL:0967-42-1501
FAX:0967-42-1505
E-Mail: rindouso@mogbb.jp

- ★チャレンジ小国GO
- ★権利擁護事業について
- ★冬休み子どもデイサービス
- ★地域ふれあいサロン
- ★りんどう荘だより
- ★認知症の人を地域で見守りましょう

- P1~2
- P3
- P4
- P5
- P6
- P7

南小国町社協
ホームページ



令和3年度

冬休み子どもデイサービス



チャレンジ小国GO

エスディーゼーズ

福祉教育×SDGS



福祉教育ってなに？

「福祉教育」は
ふだんの 暮らしの しあわせ
をつくるための学びです。

そして、ふだんの暮らしのしあわせをかなえるためには、その主人公は、私なんだ！と『我が事』にすることがとても大切です。

子どもたちに「福祉ってなんだと思う？」とたずねてみると、かえってくる答えは、障がい者や高齢者のことばかりが多いです。それは、社会や大人が『福祉は、障がい者や高齢者、困っている人を助けること』と他人事になっているからです。

福祉教育は、ふくしを『我が事』にするきっかけづくりでもあるのです。

SDGsとは、国連が定めた持続可能な開発目標です。SDGsの目指す「『誰一人取り残さない』持続可能で誰もが参加できる社会」は、『ふだんの暮らしのしあわせ』の実現にも共通する部分が多くあり、小国町社会福祉協議会と共同で小国高校と協力し、実践と検証をおこないつつ、ふくしを『我が事』にしていく『地域共生社会』の実現に向けた福祉教育を推進しています。



今回は、SDGs 地方創成ファシリテータで南小国町教育委員会キャリア教育アドバイザーの赤井友美氏（株）4Smiles代表取締役）を講師として、『SDGs 探求アワード』に応募をすることを目標に4回講座で開催しました。

参加した生徒は、下記のテーマを自分で決定し、それぞれのテーマについて広く調査分析し、自分や学校で取り組めること、町として取り組むことなど考えました。



①子供の貧困から見える問題

②健康寿命×ICT

～過疎地域における医療の重要性～

③食品をみんなに届けようフードバンク

食品ロスを減らすためにできることは何かを考えてみよう



生徒が制作した フェアトレードを 知ってもらうため

小国高校では、生徒一人ひとりにタブレットが渡されており、生徒の自主性・積極性をさらに引き出していくため、ICT（情報通信技術）を活用した、福祉教育の実践が求められていることもあり、講座（約11時間）のほとんどをインターネットでのリモート（遠隔）学習でおすすめしました。

参加生徒は、この講座以外に家庭学習や福祉施設へのインタビュー調査をおこなうなどし、約2か月間をかけて社会問題に目を向け探究し素晴らしいプレゼンテーションをつくり応募することができました。

この学びを通して、プレゼンテーションの手法や技術、自分の足元だけで考えるのではなく、より全体的な視点で考えることを学ぶことができました。

【全体最適の視点で社会をより良くする】

自分視点から全体の視点へ、より広い視点で世界を眺めることができれば、世界が変わって見えてくるはずです。

食品ロス減らすための アクション

自分のアクション必要なこと、クリアすべき課題

・フードバンクを利用して、野菜などを提供してくださる農家さんを訪ねてみる。(自分がフードバンクの仕組みを知るために)

・飢餓問題を解消するために、フードバンクに詳しい人(専門家・栄養士)に聞いてみる。

この2つの活動をしていこうと考えています。

健康寿命×ICT（情報通信技術） わたしが考えたアイデア

ICTを活用した健康維持活動

ICTならば（過疎地域における）・・・

- ・移動時間・待ち時間がかからない
- ・気軽に診療が受けられる（専門的な医療機関等）
- ・医師不足問題の解消
- ・感染予防

↓
医療活動の持続が可能になるから

小国はみんなでSDGs



小さな選択で

未来を変える

世界では一日1.25ドル（日本円で約129円）で生活する人たちが存在します。その要因の一つが、不当な貿易です。公平・公正な貿易によって、生産者がよりよい生活ができるフェアトレードを実施することでこの問題を改善できます。まずは、知ることから始めてみませんか？



THE GLOBAL GOALS

参加生徒の声

SDGSのことを身近な問題としてとらえることができた。

目標を明確にして色々なことにチャレンジしていこうと思った

今回の学習を通してわかったことは、自分自身に変化があったかわかりませんが、何かに挑戦しようとした行動力が自分を突き動かしたのだと思います。これ以外の活動にも挑戦できたので良かったです。（詰めすぎた事もありました）この経験は、自分を育ててくれたと思います。これからも挑戦する姿勢を続けようと思います。

ちいき ふくし けんり ようご じぎょう 地域福祉権利擁護事業



ってなんだろう??名前は聞いたことがあるが何をしているの?

地域福祉権利擁護事業では次のような支援を行います。

- 福祉サービスを安心して利用できるようにお手伝いします。
- 大切な通帳や印鑑などを安全な場所でお預かりします。
- 毎日の暮らしに欠かせないお金の出し入れをお手伝いします。



どんな人が利用できるの??

ご利用できる方は次の二つの要件を満たす方です。

- ① 認知症・知的障がい・精神障がいなどにより判断能力が低下されている方で、日常生活に不安がある方。
- ② ご本人に、このサービスを利用する意思があり、契約の内容がある程度理解できる方。



サービス利用までの流れは??

① 相談の受付

南小国町社会福祉協議会へご相談ください。

② 訪問・打ち合わせ

社会福祉協議会の担当職員がご自宅を訪問し、お困りのことなどをお聞きします。そして、お手伝いできるサービスについてご説明します。※相談にあたっては、プライバシーに配慮し秘密は必ず守ります。

③ 支援計画作成・計画

ご本人の意向を確認しながら、担当職員が支援計画を立てます。その計画で承諾をいただければ社会福祉協議会と契約をします。

④ 援助の開始

契約(支援計画)に基づいて社会福祉協議会の生活支援員がご自宅を訪問し、援助を行います。

※相談は無料ですが、援助を受けた場合には1回1時間あたりの利用料が900円です。

こんなことで困っていませんか?

- 役所から難しい書類が届いたけど、なんだろう??捨てていいのかな??
- お金の使い方が心配...どうしよう
- 銀行の通帳どこにおいたのかなあ



事業に関するお問い合わせ

南小国町社会福祉協議会 〒869-2401 南小国町赤馬場 3388-1
TEL:42-1501 専用電話:090-4517-5820



南小国町社協
連絡先
URL

冬休み 子どもデイサービス

開催期間

R3.12/25~R4.1/7



冬休み期間中、様々な事情により家庭で子育てが難しい児童(1年生~3年生)の健全育成を目的とした子どもデイサービスを、コロナ禍ではありますが安全・感染対策を行いながら実施しました。

また、今回の冬休み子どもデイサービスでは、子育てボランティア等(9名)民生委員児童委員(1名)高校生ボランティア(6名)中学生ボランティア(23名)南小国町教育委員会など、多くの支援を得て無事に実施することができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

冬休みの思い出



エコクッキング教室



工作活動 ~ゴム銃作り~



きよらかアサで餅つき体験



正月飾り作り

ふれあいサロン活動

NEW あおぞら会 (大谷山)



ご紹介

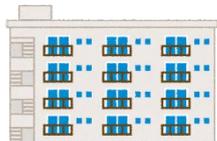
以前より、茶話会などの活動を行っていましたが、令和3年度に、社協の助成金を利用して『いきいき100歳体操』などを始めました。

- 活動日: 毎月2回
- 時間: 19時～
- 活動内容: 茶話会・いきいき100歳体操など
- コロナウイルスの影響で近所に住んでいる方もなかなか顔を合わせない、会話ができない状況が続くなか、サロン活動をととしてコミュニケーションを図り、健康維持のために定期的に運動をしています。



志津ふれあいサロン

- 活動日: 毎週火曜日
- 時間: 19時30分～
- 活動内容: いきいき100歳体操・創作ダンスなど
- 週に1回集まることで、サロンのメンバーとの会話を楽しんだり、健康増進のため100歳体操に取り組んでいる。また、講師を招き健康・福祉についての学習会を開催。



新町ピンコロ会

- 活動日: 毎週月曜日
- 時間: 13時～
- 活動内容: いきいき100歳体操・レクリエーション・茶話会など
- 新町住宅は一人暮らしの高齢者が多く、サロンに集まってお互いに声かけをしながら見守りを行っている。コロナのため、外出ができないことが多いため、100歳体操を行い体力の維持・増進に努めている。



社会福祉協議会では、**赤い羽根共同募金配分金事業**として、町内の自治会や行政組などの小地域において、地域住民が主体となり「ふくし活動」に取り組む地域を応援する助成事業を行っています。サロンを始めたいと思っている方や団体など、新規立ち上げのお手伝いをいたします。

連絡先 南小国町社会福祉協議会
TEL:42-1501 専用電話:090-4517-5820



いんどう荘だより～あなたの笑顔が私の元気～

北風がとても冷たい日が続きますが、デイホールの中は、ストーブの暖かい炎や、窓から差し込む太陽で寒さ知らずです。

この冬は北京オリンピックが開催され、ご利用者様が連日テレビで競技観戦を楽しまれていました。

コロナウイルス感染拡大の影響で、例年開催をしていた行事や、レクリエーションなども密を避けるために、実施することが出来ずに利用者さんには、ご迷惑をおかけしています。

コロナウイルスが収束した際には、また、様々な行事やレクリエーションなどで楽しんでいただきたいと思います。



いんどう荘でのコロナウイルス感染予防対策

- 自宅での検温、送迎車へ乗る前に手指のアルコール消毒、マスクの着用
- 利用者さんのテーブルをパーテーションで仕切り、飛沫による感染予防
- 入浴も密集を避けるために少人数で実施
- お昼寝は、利用者さん同士の間隔を空け、可能な限りマスク着用での休憩
- 室内換気、椅子やテーブルなどの消毒



ベッドの間隔を空けています



パーテーションで感染予防



制作物（貼り絵・絵馬）



制作中（貼り絵）

認知症の人を地域で

見守りましょう



認知症の人やその家族が困っているのに気づいたら

まずは、南小国町役場、南小国町地域包括支援センター、地区の民生委員児童委員等に連絡しましょう。

また、デイサービスやヘルパーサービスを利用している方は、その介護サービス事業所に連絡し、ご家族の連絡先を知っている場合は、ご家族に連絡しましょう。



地区の民生委員
児童委員等
に連絡しましょう

介護サービス事業所
に連絡しましょう



南小国町役場
地域包括支援センター
に連絡しましょう

ご家族ご親族
に連絡しましょう

関係機関の連絡先

南小国町役場

☎(0967)42-1111

南小国町地域包括支援センター

☎(0967)25-6877

南小国町社会福祉協議会(りんどう荘) ☎(0967)42-1501